

\*1201100594205\*



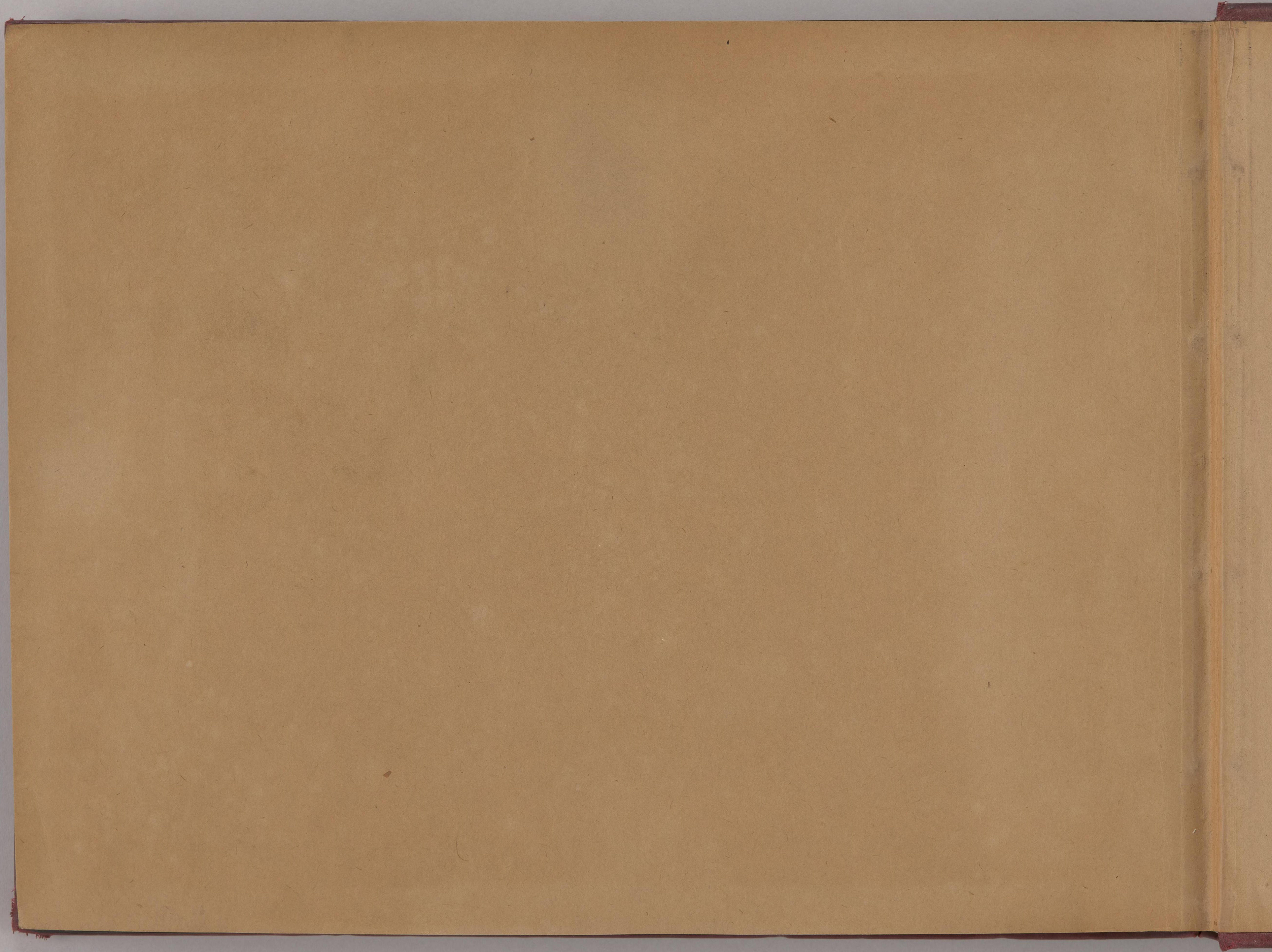
禁電子式複写



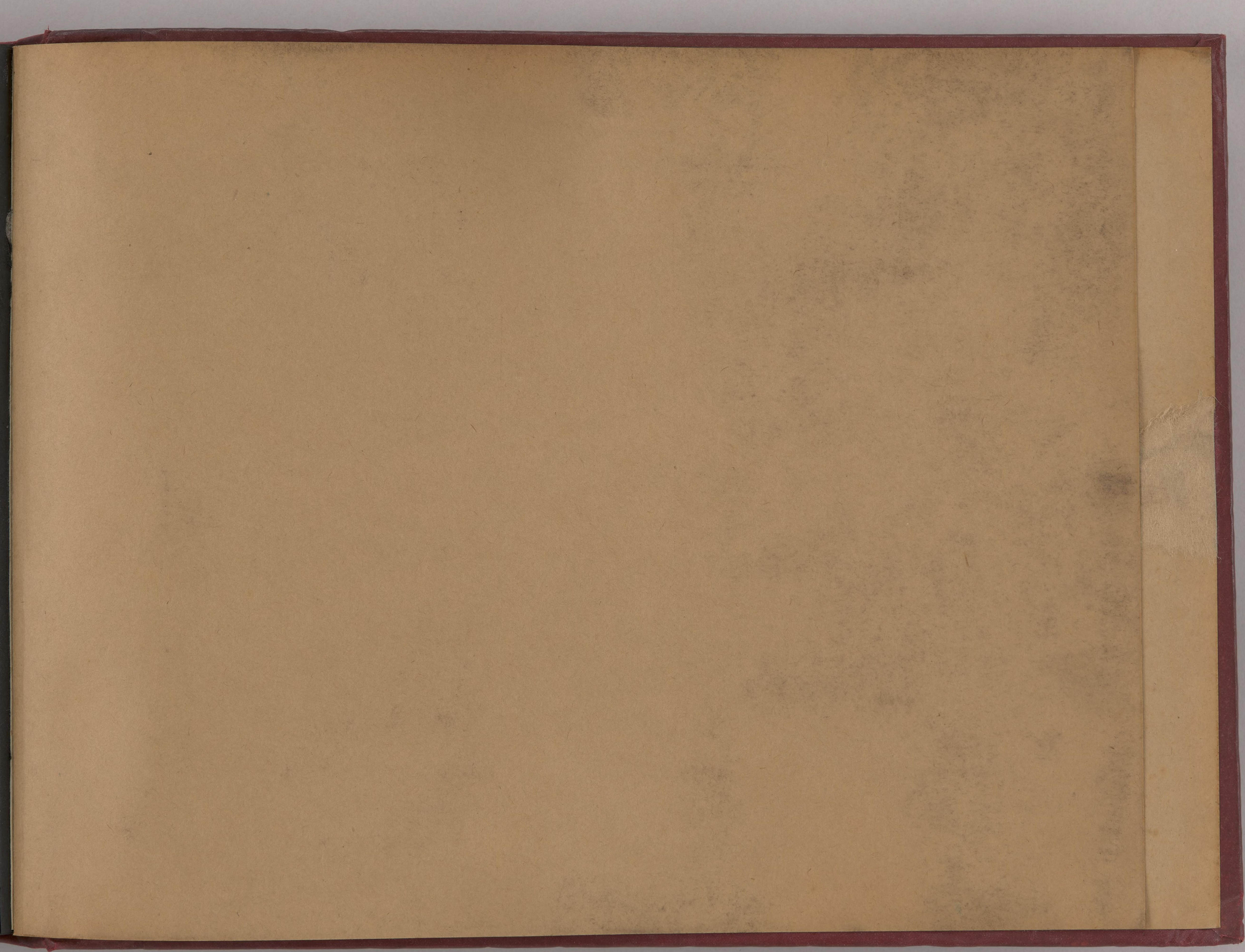
















新聞聯合

寫真

真

二

一

昭和八年六月





聯合

寫眞

第一號

六月一日

◎あゆ解禁

―多摩川にて―





Shimizu Ringu  
三島 潤



聯合 寫眞 第三號 八年六月一日

◎ペルリ僧正と戸田夫妻

一 久里濱で劇的會見

幕末の昔を偲ぶ先覺者の孫同志の歴史的會見  
は一日久里濱海岸ペルリ提督上陸記念碑の前  
でいとも劇的に行はれた。此の日久里濱村村  
長以下有志村民外久里濱小學生等約二百名、  
浦賀町高坂小學校兒童八百名が日米兩國旗を  
振り翳して待ち受ける裡を午前十一時五分浦  
賀の名奉行戸田伊豆守氏榮の曾孫戸田鶴代さ  
ん夫妻は當時の代官山村氏の後裔山村鏐二氏  
等と到着、稍々遅れて續國日本のパイロット  
ペルリ提督の孫ギルバート・ペルリ大僧正夫  
妻は米國大使夫妻等と到着新くて十一時五十  
分記念碑前に居並び黒僧正服のペルリ大僧正  
と紋附姿の鶴代さんの兩人は固き握手を交は  
し其の感激的シーンは日米兩國八十年間の永  
い親交を表徴するかの様であつた

寫眞は

一 久里濱の劇的會見





Y. S. Rengo  
1924



◎米國アジア艦隊旗艦入港

一テ提督海軍省訪問

先にアメリカを訪れた我が練習艦隊の答禮の意味でアメリカアジア艦隊司令長官テイラー提督坐乗の同艦隊旗艦ヒューストン號（一九〇五〇トン）は朝港記念祝賀に賑はふ二日午前八時我が海陸機數機の空からの歓迎を受けつつ横濱港内十番ブイに碇留した、同艦はワシントン條約に依る最新式八吋砲巡洋艦で全長六百呎八吋砲九門、五吋高角砲四門三吋砲二門、二十一吋水雷發射管六門の外飛行機四臺、カタバルト八基の裝備を有し乗組員四百六十七名搭乗テ提督以下は午後二時上京直に海軍省を訪問した

寫眞は

一、海軍省に大角海相（右）を訪問のテイラー提督（海相の左）







大角海相とテイラー提督







聯合 寫眞 第一號

六月三日

◎日米協會のテ提督招待

日米協會では三日午後一時から帝國ホテルに於て來朝中の米國アジア艦隊司令長官テトラ提督以下艦長士官等二十九名を招待、午餐會を催した來會者は徳川會長、大角海相、野村横銀長官、米大使等數百名、徳川會長の歡迎の辭に對しテトラ提督起つて謝辭を述べ盛會裡に散會

寫眞は

一、日米協會の午餐會へ起てるはテ提督







聯合 寫眞 第二號 八年六月三日

◎未來の大音楽家入學式

「音楽學校の兒童音楽學園」

六月三日から開校した上野音楽學校内の「上野兒童音楽學園」では未來の大音楽家を志した小學四年生の男女百十八名（内男の十九人）はお母さんやお姉さんに連れられてイソイソと登校、乗杉校長の訓示を受けた後直ちに授業に取掛り譜表の読み方、提琴實習等やつたが何れも天才の卵揃ひで先生達さへアツと云ふ程の頭のよさ腕のよさであつた。毎週水、土の二日、聲樂を主としてピアノやヴァイオリンを教へるさうである。

寫眞は

「未來の大音楽の實習







聯合 運動寫眞 六月四日

◎全國學生劍道大會

全日本學生劍道聯盟第六回大會は四日午前  
時から日本青年會で全國から青年劍士の精  
大學高専七十一校の代表者三百餘名出席し  
盛會を極めた







聯合 寫眞 第一號 六月四日

◎軍用犬市中大行進

軍用犬豫備軍充實のため先頃産聲を擧げた帝國軍用犬協會では久邇宮朝融王殿下を總裁に奉戴した光榮を紀念する爲め四月午前九時上野公園西郷銅像前に集合し軍隊式隊列を整へ昭和通りから宮城前迄市中の大行進をした

(寫眞昭和通りで寫す)







聯合 寫眞 第一號 八年六月五日

◎ テイラー司令長官謁見

米國アジア艦隊司令長官海軍大將モントゴメリイ・ヒュム・テイラー氏は皇室に敬意を表する爲五日午前十時廿分禮裝に威儀を正し旗艦ヒューストン號艦長ダブルユー・バツガレール同艦隊參謀長エフ・ゼーフレッツチャー、同國大使館付武官アイ・シイ・ジョンソン氏等と共に駐日米國大使グルー氏に伴はれ坂下門より參内同計分鳳凰の間に進み三谷御用掛の御通譯にて天皇陛下に謁見仰付られ御握手を賜はり司令長官は恭々しく來朝の挨拶を言上したるに陛下には優渥なる御言葉を賜ひ引續き隨員一同も謁見仰付られ一同はこの光榮に感激御前を退下した

寫眞は

一、參内の米提督（左から米大使、テ提督）

一、於米國大使館







聯合 寫眞 第二號 八年六月五日

◎慈惠會五十周年祝賀式

東京慈惠會では明治十四年高木兼寛男の成醫  
會講習所開始以來今年を以て滿五十周年に達  
したのと畏くも内帑金御下賜の恩命を拜受し  
たのを機として五日芝公園の同會に於いて記  
念祝賀式を舉行、この日總裁竹田宮大妃昌子  
内親王殿下には午后一時四十五分着御、徳川  
會長以下大學理事、職員慈惠會理事其他の奉  
迎裡に式場に台臨、令旨を賜ひ徳川會長恭々  
しく奉答、殿下には校舎御巡視の上午后三時  
御機謙麗はしく御歸遠遊ばされた

寫眞は

一、徳川會長の奉答







聯合 寫眞 第一一三號 八年六月六日

◎ 邦芳王殿下御葬儀

勳一終伏見宮邦芳王殿下の御喪儀は六日午前  
七時御喪主伏見宮博義王殿下、伏見軍令部長  
宮殿下の御一家をはじめ御親戚に當る閑院、  
梨本清元帥宮、朝香宮、京久邇宮各殿下御參  
列、極前祭の御儀を執行、近衛騎兵儀仗兵御  
警衛の上豊島岡に御着、同十時靈柩を御葬場  
に安置し奉り御喪主博義王殿下を始り奉り皇  
族各殿下、齋藤首相以下各國務大臣その他有  
資格の文武官唄合に着床、參列諸員の拜禮あ  
つて御葬場の儀を御終了、御墓所の石機に斂  
め參りさせた  
寫眞は

一、御靈柩御發引

一、參列の高官



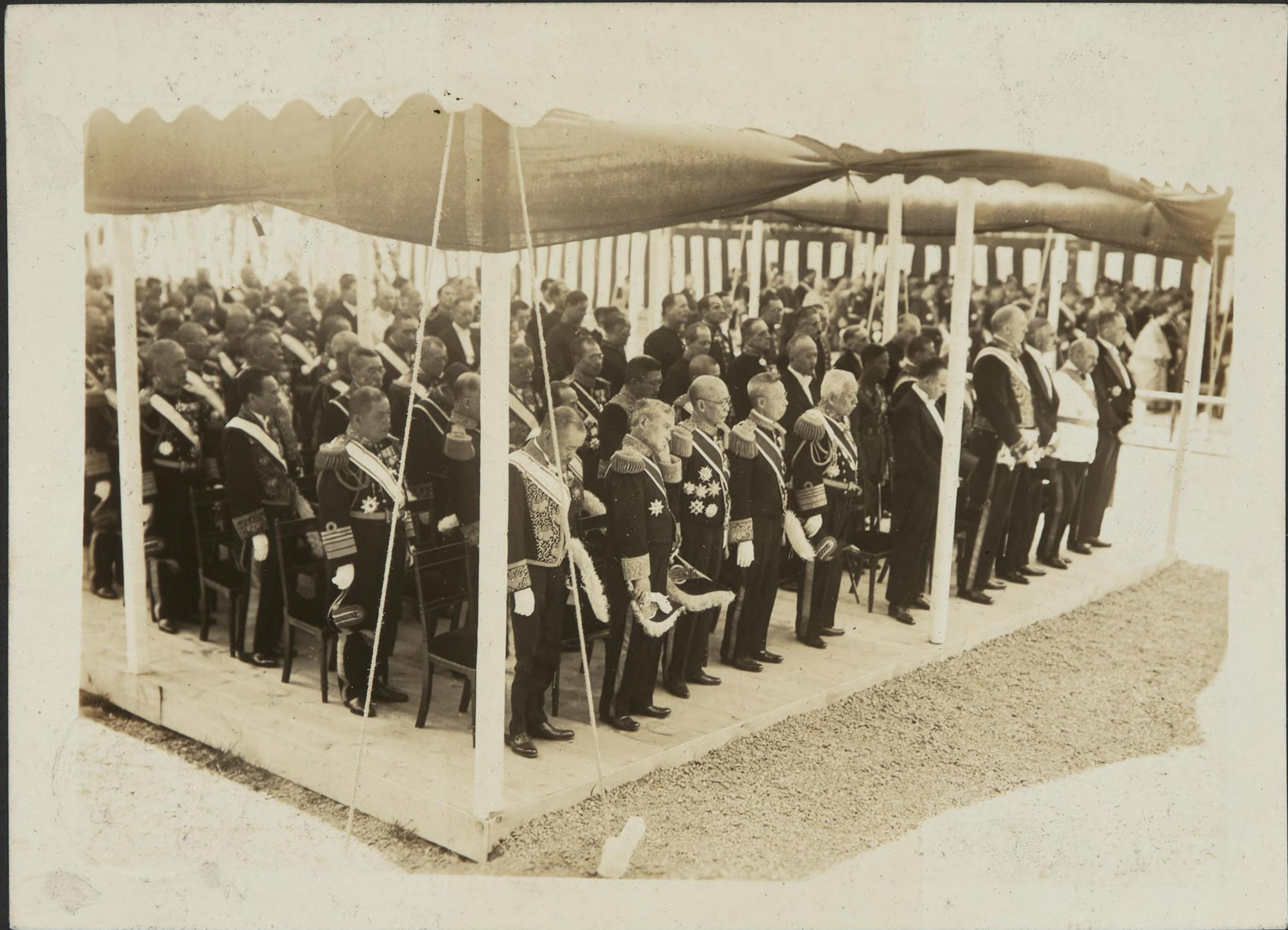




邦芳王殿下御葬儀

参列の高官







聯合

スケッチ寫眞

六月七日

◎海邊に立ちて

「鎌倉の初夏」







聯合

寫眞

第一號

六月七日

◎山の世界へ（其一）

一箱より眺む双六、連華

山は永い冬眠より醒めた、海の一波の誘惑に  
對照して、千姿万態、朝に夕に山容の極美を  
發揮するもの山、山、山だ。繪として眺め  
てよく、踏破して無限の征服感に陶醉するも  
の山、山、山だ。一將にアルペン・フアン  
に執つてこの絶え難い誘惑に身を投げ掛ける  
時が来た

寫眞は

一、西鎌尾根より双六、連華を眺む一箱の絶  
頂にて特派員撮影







聯合 海外寫眞 ニュース

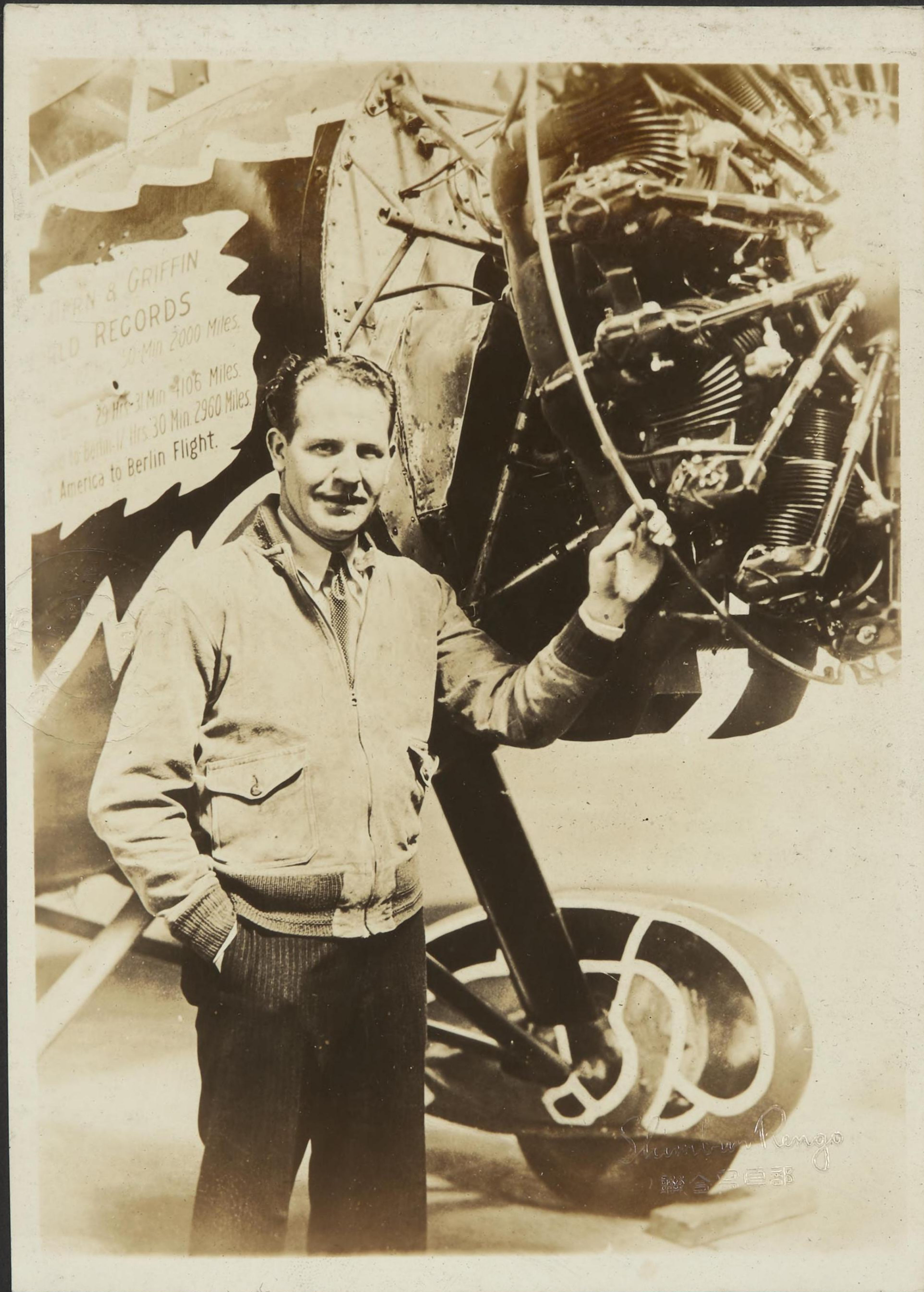
六月八日

◎韋駄天飛翔を続ける

マターン氏の「世紀の進歩」號  
（ニューヨーク）發聯合 世界一周半の  
米國飛行家ジエームス・マターン氏謀議の「  
世紀の進歩」號機は、あらゆる困難を着々征  
服しながらポスト、ゲッチー兩氏の記録を破  
るべくその韋駄天飛翔を続け八日プロコピエ  
フスクに到着した

寫眞は、フロイド・ベンネット飛行場にて  
準備練習中に撮影（五月十九日）した  
マターン氏と愛機「世紀の進歩」號機







聯合 寫眞 第三一四號

六月八日

◎濱松飛行隊爆發

七日午後八時四十分三方ヶ原飛行聯隊の爆發事件は飛行機、爆彈、建造物、ガソリントン等の損害は驚くべき多額に上るべき見込みで格納庫兵舎等も使用に堪へ得るものゝない程の被害を被つた（詳細記事参照）

寫眞は

- 一、聯隊本部後方より爆發現場を望む
- 二、第二格納庫の被害







聯合 寫眞 第一號 八年六月九日

◎貴族院正副議長勅任傳達式

午後三時宮中南溜の間で

徳川貴族院議長辭表提出に伴ふ後任は近衛副議長、副議長には研究會の松平頼壽伯に就任方を交渉の結果受諾したるを以て齋藤首相は九日の定例閣議に右の次第を報告異議なく承認を経たので上奏御裁可を仰ぎ午後三時半宮中南溜の間に於て正副議長の勅任傳達式を行ひ齋藤首相より近衛公松平伯に對し夫々勅任辭令を傳達同時に徳川議長は聽許された

寫眞は

一、近衛副議長、松平伯、齋藤首相、  
近衛新議長、徳川公、松平新副  
議長







◎空のルンペン飛來

イウインランドのブレイメル氏

フィンランド有数の飛行家ヴィアノ・ブレイメル氏はアイムストロング・シドレー・ジエネット八十馬力付ユンカー・ジュニア機を操縦。去月十一日首都ヘルシングフォールスを起點とする世界一周飛行を企て印度經由、六月六日上海發、九日午前京城發同日午後羽田のエアポートに無事到着した。空の漫步者らしく單身氣輕に機上より飛び降り出迎への人々に愛嬌をふりまいてゐた。同氏は數日東京滞在の後汽船で米國に渡り世界一周を續ける由

寫眞は

一、羽田到着のブレイメル氏







聯合 寫眞 第一號 八年六月十日

◎由緒ある古船の錨の摸型

一伊海相からわが大角海相へ一

十日朝伊太利大使館附武官のバルト大佐は大角海相を官邸に訪問し錨の摸型を贈呈した。これは永野中將が今年一月ローマに旅して郊外ネーミ湖で發掘保存されてゐる西暦五十年頃のローマ船を見物し大いに珍らしがつてその船の一片でもよいから江田島兵學校の教育參考館に寄贈を受けたいと駐伊海軍武館の大谷少佐を通じて伊太利政府に申込んでおいたもので同政府の好意でその船の錨の十分の一の摸型をわざわざ作つて贈つて來たものである

寫眞は

一古船の錨の摸型（中村副官とバルト大佐）







聯合 寫眞 第五號 八年六月十日

◎獨逸大使賜暇歸國

駐日外交團の首席である獨逸大使フオレツチ氏は夫人令息を伴ひ十日午前十一時二十二分東京驛發電車で出發午後三時横濱解纜のエソブレヌ・オブ・カレシア號でカナダ經由賜暇歸國の途に上つた大使は來る十月一旦單身歸任し年末愈々停年に達し外交官を引退するので離任歸國する豫定である。尙同大使の不在中は大使館參事官エドルマンズドルフ氏が臨時代理大使たることとなつた

寫眞は

一歸國の獨大使（向つて左から）夫人、見送りの露大使、獨大使







聯合 運動寫眞

六月十一日

◎第二回一般對學生競技大會

八年計畫の大旗を押し立て、伯林目指して奮進する陸上日本の試金石第二回一般對學生陸上競技大會は十一日午後一時より世界記録出現の期待の下に神宮外苑競技場に於て行はれた

寫眞は

一 入場式

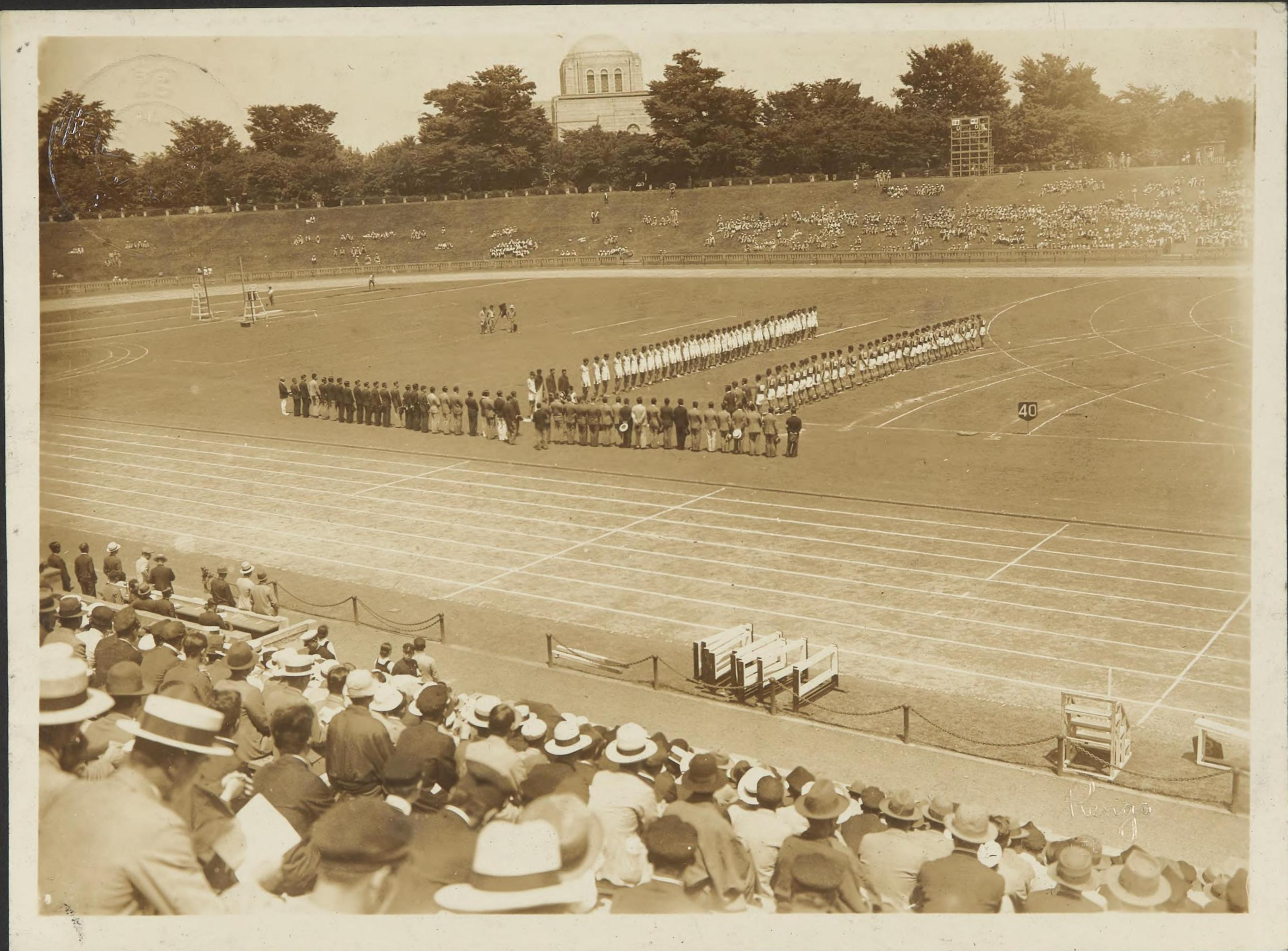
二 棒高跳一等西田君

(學生) 記録四米二〇

三 一萬米一着須佐君

(一般) 記録三十三分八秒







◎世界水泳界の覇者  
「ニッポン」の縮圖

「第七回水上早慶戦」

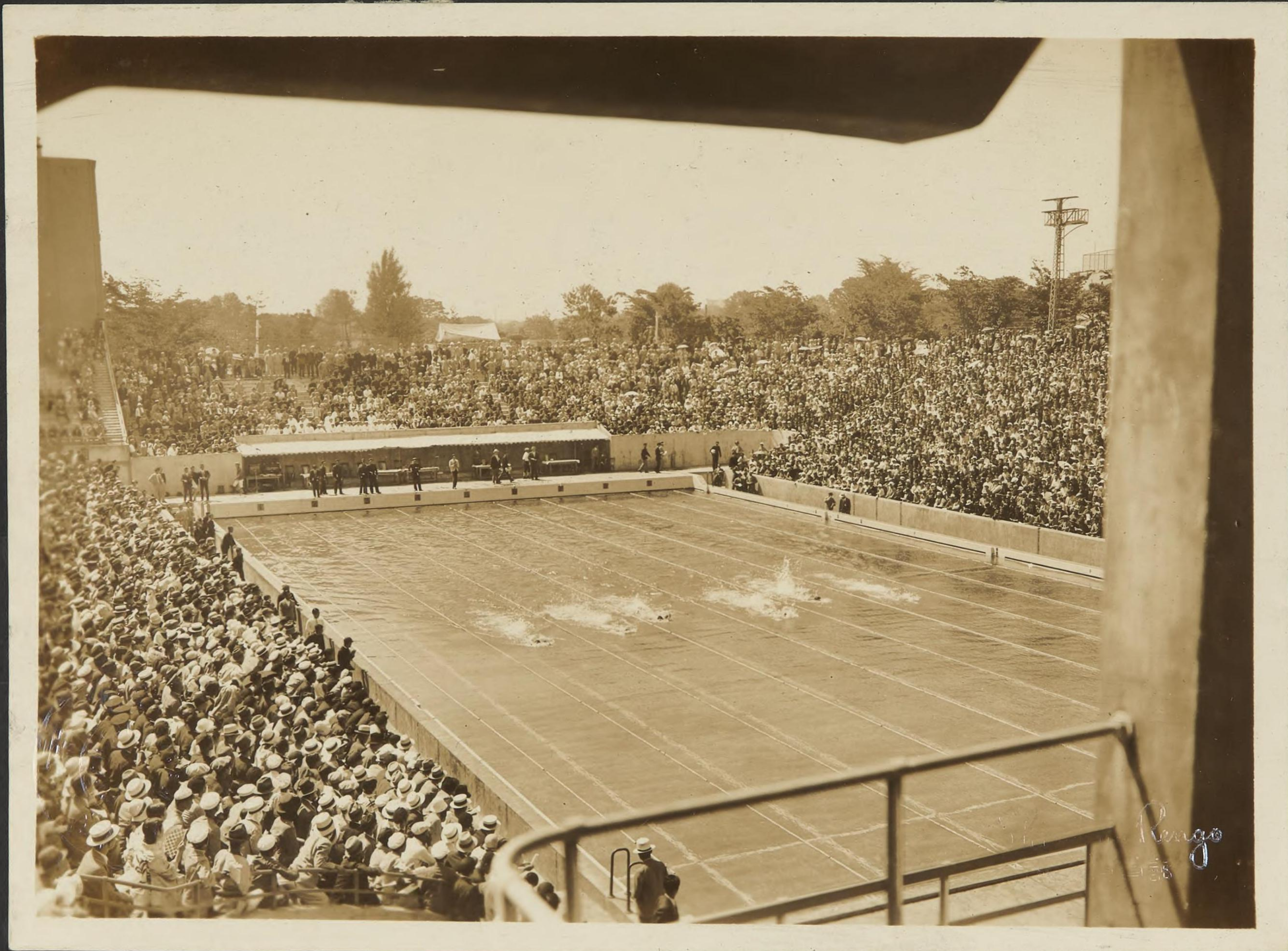
第七回早慶對抗水上競技會は十一日午後一時より神宮水泳場に於て眞夏を思はず絶好のコンディションの下に盛大に行はれた。此の日六年間大差を以て連勝せる早大は、牧野君以下多數の新入學選手を以て世界無比の學生チームを編成すれば慶大亦舊選手と小池君始め多くの新進を以て對抗の氣勢を挙げ、世界水泳界の覇者「ニッポン」の最も華やかな縮圖は更に傳統と意氣をそゝり立てる「早慶戦」の名に於て數千のファンに世界記録を待望せしめつゝ押し進められた

寫眞は

水上早慶戦全景

「百米自由形」







聯合 海外寫眞 ニュース 號外 六月十二日

◎愈々開會のシカゴ萬國博覽會

(シカゴ) 發聯合

全世界產業界の熱心な後援支持のもとに、かねてより莫大な經費を以て着々準備を拂めて居たシカゴの萬國博覽會は去る五月二十七日より愈々開會された。その規模に於て未曾有と云はれる同博覽會は必ずや全世界より數百萬人の見物人を引き寄せシカゴを賑はすことであらう。

寫眞は

(一) 開會式當日の盛大なピック・パレード(シカゴ・ミシガン街にて)

(二) 博物館入口より「科學館」に至る賑やかに飾られた道路

(三) 五月二十七日の開會日當日の賑ひ

(明六月十三日附海外寫眞は休刊致します)







シカゴ万国博覧會

博物館入口より科學館に至る賑やかな  
飾られた道路







◎ブダペストの少年團大會へ

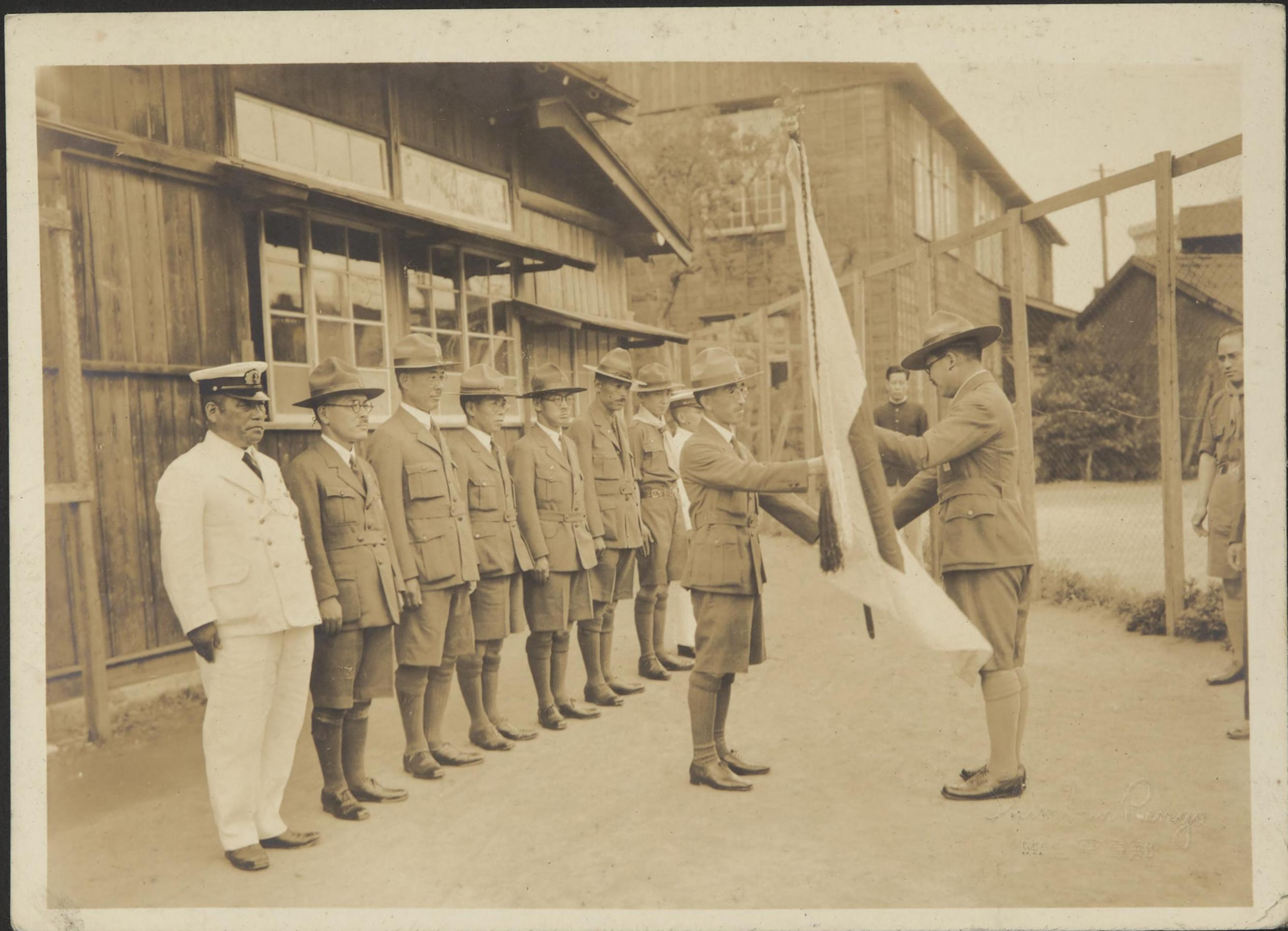
一海國健兒團出發一

來る八月一日より十五日までハンガリーのブダペストで開かれる第四回少年團大會に参加する少年團日本聯盟代表派遣員九名は十三日午前十時文部省内の本部に集合、團長二荒伯より團旗の授與を受け式後自動車を連ねて二重橋前に到り宮城遙拜、明治神宮に參拜午後一時一と先づ解散したが一行は十五日午後八時廿五分東京驛發で西下神戸解纜の箱根丸で出發する

寫眞は

一、二荒伯より團旗授與







聯合 寫眞 第三號 六月十三日

◎常陸丸殉難して三十年

一十五日盛大な記念祭典

常陸丸が玄海灘で凄惨な最期を遂げてから、  
年は早くも三十年目に當るのでその殉難當  
の來る十五日青山墓地で盛大な記念祭典を  
げ常陸丸輸送指揮須知中佐未亡人、令息正  
少佐、乗組員遺族、荒木陸相、眞崎參謀次  
近歩一聯隊將校以下全員が參列する由である  
須知中佐遺族は赤坂區青山一ノ三五に夢の  
き當時の追懷新にしてゐた

寫眞は

一須知中佐遺族（向つて左から）正文千  
子未亡人、正和、正英、正武、榮子の  
氏







聯合 寫眞 第三號

六月十三日

◎國際經濟會議に對する希望

齋藤首相のトイキイ撮影

十二日ロンドンに於いて開會された國際經濟會議には六十六ヶ國より大統領、總理、外相閣僚等數十、其他約千名に餘る代表出席し世界の經濟更生につき各々獨自の立場よる堂々論陣を張らんとしてゐるが我國でも齋藤首相自らトイキイに依つて「國際經濟會議に對する希望」と題する約十分間に亘る映畫演説を撮影宣傳する事となり十三日午後一時半から官邸二階小客間を臨時スタジオとしフオツクスのキヤメラに納つた

寫眞は

トイキイ撮影の齋藤首相







聯合

寫眞

第一號

八年六月十四日

◎日滿親善人形使節歸る

滿洲國溥儀執政始め日滿要人に大和人形五十餘個を贈呈すべく渡滿した人形使節松本邦子、  
船外三名の一行は團長松平俊子女史、日滿中央會伊藤理事等引率の下に美はしき親善の使命を果し十四日午前十時東京驛着列車で目出度く使命を終へて歸京した、一行は直ちに靖國神社明治神宮等に參拜奉告、各宮家に御挨拶申上げて解散した  
寫眞は

一、歸京の人形使節（於東京驛）







六月十五日

◎ピカール兄弟昇天くらべ

（スフィン）發聯合 成帯團探檢で有名なピカ  
ール教授の弟でスホスの化學者ジャン・ピカ  
ール氏は兄貴の作つた昇天レコードを（十哩  
半）を破らうとアメリカの海軍少佐セツル氏  
と二人で、今夏圖の様な金屬製ゴンドラに打  
乗つて成層圏上りを企てる事になつた、この  
ゴンドラの重さは二百ポンドである

寫眞は

ゴンドラ上のジャン・ピカール氏

× × × × ×

◎半鐘泥棒の親方

竹馬は由來三半器官の發達を助けるものであ  
るデス、とあつて米國陸軍士官學校では御覽  
の通りの強行軍ですがその又上を行くのが眞  
中のケンネス・ヒル中尉殿、竹馬の脚の高さ  
十呎はドウデス







聯合 寫眞 第二號 八年六月十五日

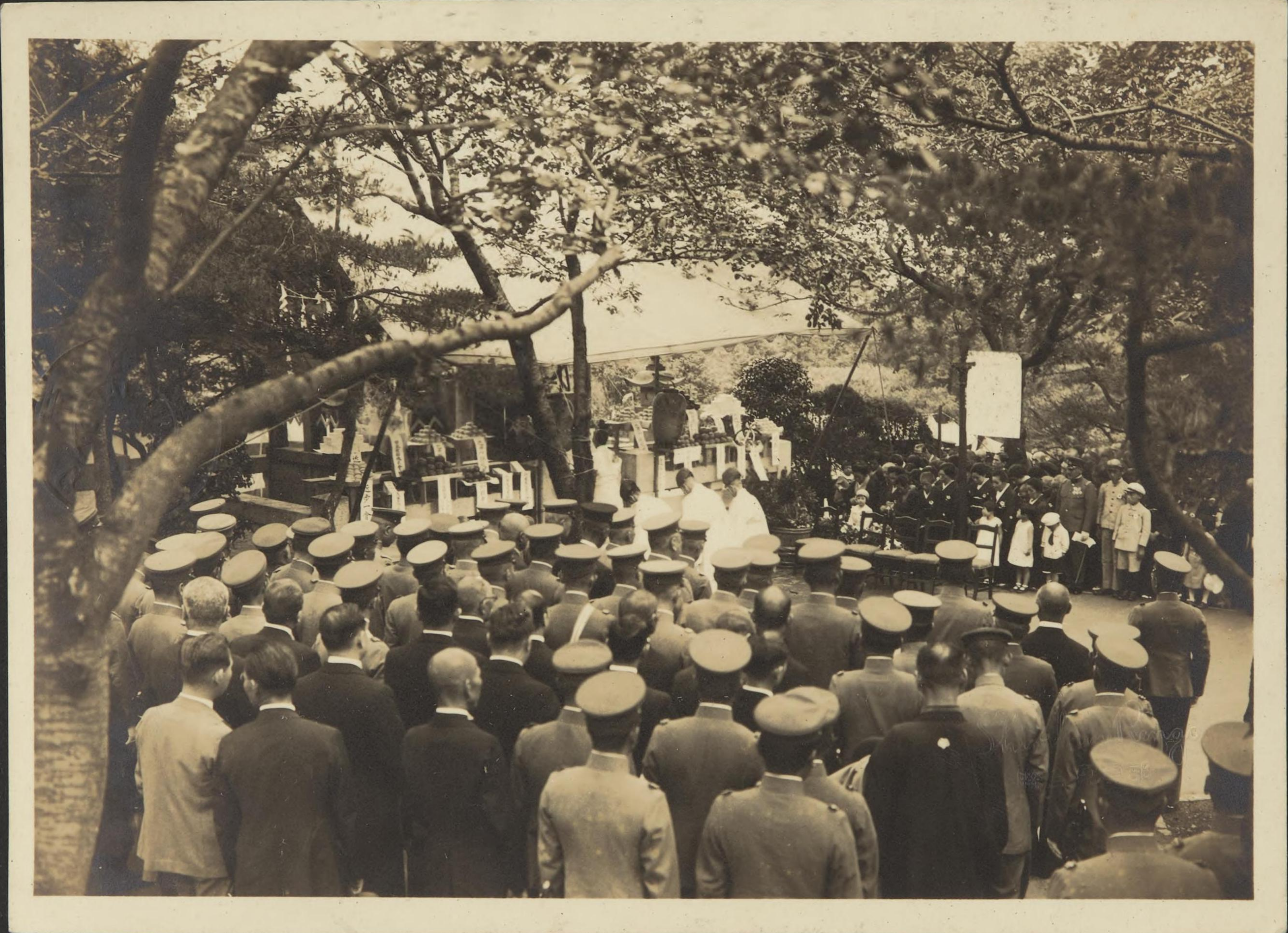
◎生存者に當時の悌を偲ぶ

一常陸丸殉難三十年祭典

日露戦史に不朽の光採を遺した常陸丸の殉難  
三十周年記念祭典は近衛歩兵第一聯隊の主催  
で十五日午前十時から陸軍將兵遭難者六百三  
十五名の忠魂永へに眠る青山墓地の齋場で舉  
行、小原芳次氏外六名の生存者を初め常陸丸  
輸送指揮官須知中佐未亡人千勢子刀自遺兒知  
正武少佐以下遺族百五十名近歩一聯隊の將卒  
一千二百名、來賓並に近歩一關係者として荒  
木陸相、林教育總監、眞崎次長、鎌近衛師團  
長等の諸星、一般參拜者多數參列、祭主、遺  
族、來賓の參拜に十一時式を閉ぢた  
寫眞は

一常陸丸殉難祭典







聯合 寫眞 第二號 八年六月十六日

◎ 人形使節東郷元帥訪問

日滿親善のため大和人形を携行、日滿婦人協會頭松平夫人に引率されて渡滿した人形使節一行は使命を終へて歸京早々各宮家を訪ふたが十六日は午後一時から一行は麴町の東郷元帥を訪ひ無事使命を果した事を報告、元帥より懇ろな言葉を受けて退出した

寫眞は

一 人形使節東郷元帥訪問







聯合 寫眞 第六號 八年六月十六日

◎日佛協會總會

一 總裁閑院宮御台臨

日佛協會では十六日午后三時より神田の日佛  
會館に於いて總裁閑院宮殿下の台臨を仰ぎフ  
ランス大使等其他出席。本年度の總會を開催  
した

寫眞は

一 日佛協會總會に台臨の總裁宮







聯合 海外通信ニヨース 第三七四〇號 六月十七日

三七四〇號

◎歐洲代表美人主賓に

マドリッドの大闘牛競技

「マドリッド」發聯合

歐洲社交界例年の最大年中行事たる各國代表美人選出及「ミス・歐洲」の選出大會は今年  
は新興の意氣燃えるスペインの首府マドリッ  
ドに於て近々行はれることになり既に各國代  
表美人連も着々到着したので市當局では此等  
各國美人連を主賓に同國の國技たる「闘牛」  
競技をマドリッド記念スタヂアムに於て開催  
その勞を憐つたが、美人連も競技場を一巡し  
てその美しい所を披露した、

意直は競技場メイン・スタンドで競技を待  
つ美人連と場内一巡の各國美人代表







マドリッドの大闘牛競技  
場内への各国美人代表





*Slumbury Rings  
1886-1891*



聯合 寫眞 第一一二號 六月十八日

◎丹那水抜き抗開通

一西口の爆音東口に響く

丹那トンネル水抜き口殘部三十尺の區間に對しては西口からボーリングを行ひ已に西口の爆音で東口先端の岸壁からは土砂が落ちる程だが東口には帝大地震研究所高橋理學士が聽音機を据え付け爆破の動きを試験してゐる。既に十八日はボーリングによつて事實上東西兩抗の風が通ひ愈々十九日を期して東京に於ける鐵相のベルを合圖に最期の爆破を行ふのである。

寫眞は

- 一 爆破作業試験中の高橋理學士一行
- 一 大正十年遭難の際の唯一の生存者「丹那の英雄」安田喜作（三五）君







聯合 寫眞 第三號 八年六月十八日

◎淺草防護團の防空豫行演習

淺草防護團では今夏八月月中旬帝都を中心に行はれる大防空實習の豫行演習を十八日午後一時から元藏前高工跡二萬坪の廣場で舉行した。池園區長が總司令となり全區分團員が總動員して爆彈投下、毒瓦斯撒布等の空襲に對する防護行動を取り陸軍省から關係者多數出席、指導と講評とを行つた。

寫眞は

一、毒瓦斯防護行動







◎ヘイミー一寸待つてよ

（オシヨン・パーク・カリフォルニヤ）發聯  
合 「ヘイミー一寸待つて下さいよ、ワシヤ  
これでもフルスピードなのに」 當地年中  
行事たる去る五月二十八日の南加州自轉車デ  
ーに五百七ポンドのお身體にはいとも不似合  
な自轉車に乗つて參加した「チニー」デリッ  
フィン嬢、これでなかなか愛嬌物です

×

×

◎林間教會

（ベルリン）發 べルリン・キリスト教各派  
青年同盟では去る五月二十五日その創立二十  
五周年を迎へたのでべルリン郊外のグリエー  
ネンバルドの森でその祝賀感謝祭を盛大に行  
つた

寫眞は林間に於ける式前の讚美歌齋唱







林間敬會







聯合 運動寫眞

八年六月二十日

◎南米へスポーツ使節

南北兩米へ六ヶ月の遠征に赴くスポーツ使節  
福井、住吉兩監督以下大島、大江、朝隈、藤  
枝等六選手は二十日午後零時十五分東京驛發  
小田原行列車で横濱に向ひ三時四號岸壁解纜  
の郵船南米航路樂洋丸で華々しく鹿島立ちし  
た一行は八月五日ペルー國カヤオ港着各地を  
轉戦し十月十六日羅府出帆の大洋丸で歸朝の  
豫定である

寫眞は

一、東京驛出發のスポーツ使節







聯合 寫眞 第二、三號 八年六月廿日

◎初夏の白馬へ（一）

本社特派員撮影

山。山。山の呼ぶ聲の聞える初夏、山開き前の白馬登攀を決行すべく石部夫人等と行を共にする。梅雨期ではあり多少の危険を慮つて白馬を目指したのだが一は著名な大雪渓を持ち高山植物の豊富なる、山容の多種多様なる然も世の御婦人方のために手つ取り早い道案内の意味を含めての壯舉なのである。早朝大町より自動車を雇つて登山口二股の出合よりいよゝゝ登る

寫眞は

一 二股川附近（不歸唐松岳の雪解）

二 高山の風光に接して目を眩る（御殿場下より大蓮華、小蓮華を望む）

………

（新しき試みとして赤外線寫眞を携行特寫致しました）







聯合 寫眞 第一一二號 八年六月廿一日

◎初夏の白馬へ（二一三）

一 本社特派員撮影

白馬最初の山小屋去倉のヒュッテは晝なほ暗  
き樹林に取り圍れてゐる、普通登山家として  
は必要とも思へぬがスキーヤーには重要な小  
屋だ、一行はこゝに一夜を明かす、早朝は  
ぼのと夜の明くる頃身にせまる神祕に包まれ  
た山の心の動きは山に入ったものみに感得  
される特種だ、朝餉の頃僅かに樹間を透れる  
白光は綠葉に映じて恰かも雪花の如き美觀を  
呈してゐる、更に前進、御殿場下から山頂を仰  
いだ大蓮華の豪壯味――。

寫眞は

一、去倉の小屋

一、御殿場下より仰ぐ大蓮華、小蓮華

.....

（赤外線寫眞にて特寫）







◎東大又々騒ぐ

―學生數十名檢束―

京大問題の紛擾に伴ひ東大でも風雲漸く急を告げ過日經、文學部のデモ參加の機を失した法學部では密かに高代會議を開きその機を狙つてゐたが二十一日午前十一時半頃校内三十一番教室で美濃部教授の憲法講義中突如一昧の學生が立上り法學部學生大會の開催を叫び激越なアジ演説を爲し不穩の形勢を示したので本富士署員二百名と學生二千名の亂闘となり數十名の檢束者を出した

寫眞は

一、東大生のデモ







聯合 寫眞 第二號 八年六月廿二日

◎カール殿下御來朝の御挨拶

御入京の瑞典國皇族カール殿下には午後一時  
麴町區平河町の同國公使館に入らせられて御  
旅装を解かせられたが御晝餐の後宮城に御參  
内次で大宮御所、秩父宮御殿に廻られ記帳で  
御來朝の御挨拶をされた後、明治神宮に參  
された

寫眞は

一明治神宮參拜のカール殿下







聯合 寫眞 第三號 八年六月廿二日

◎初夏の白馬へ（四）

本社特派員撮影

いよ々々大雪溪に掛る。劍の長次郎、平藏針の木、而して白馬の大雪溪は日本に於ても大雪溪を持つ山として極めて著名だ、更に高山植物の豊富にして眞の高山氣分を味ふべく白馬はその最なるものとして推奨に値ひする。山開き前の雪の衣をつけた處女地を踏破することの壯快さ、一行は人夫を先頭に登る。去倉より二時間行程、馬尻より雪溪に掛つたのである。

寫眞は

一、雪の處女地を踏む（馬尻にて撮影）







◎武裝平和時代の

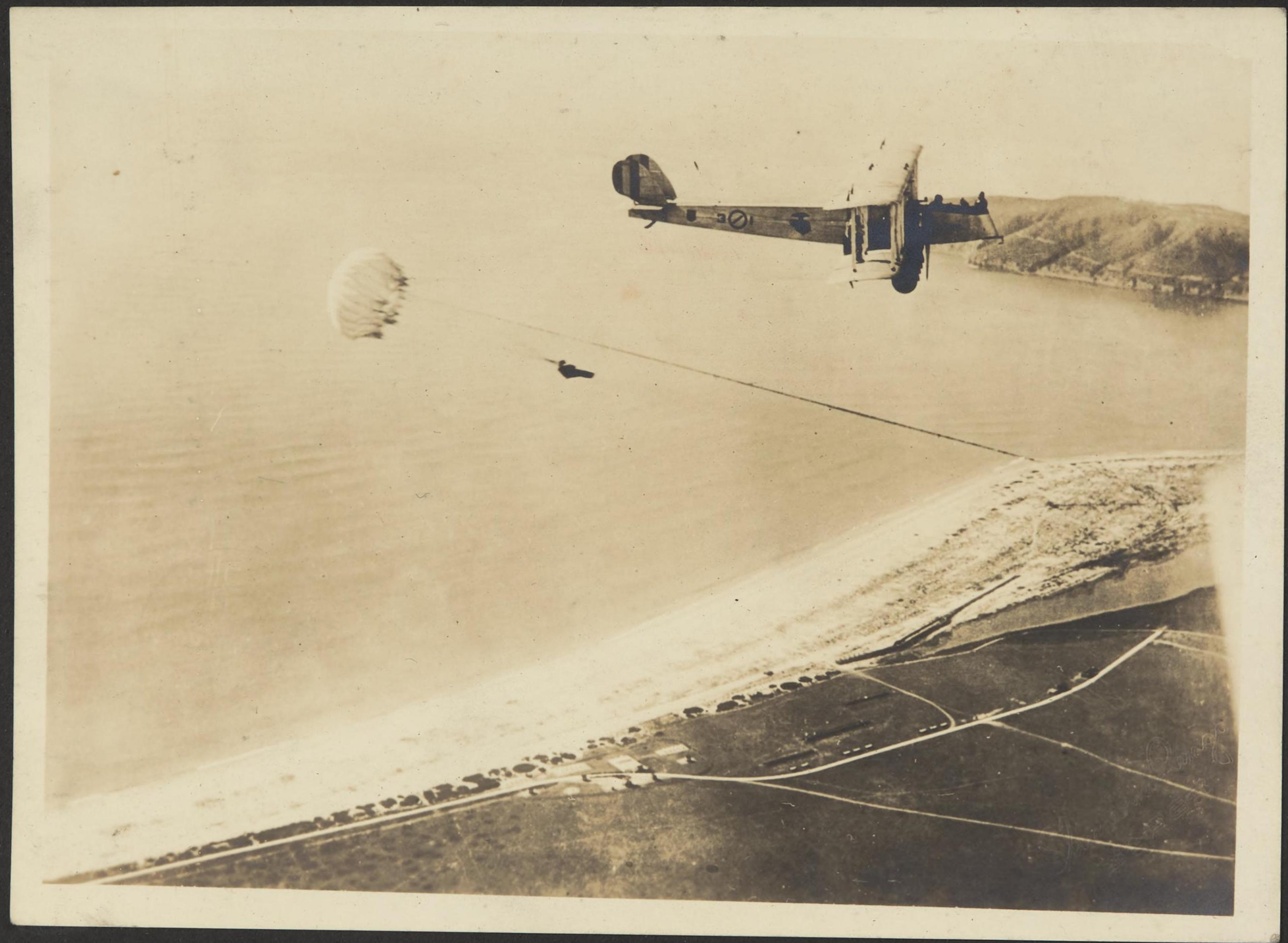
再來を表徴する大假戰

（サンヂエゴ||カリフォルニヤ）發聯合 太平洋の名にはいも不似合な大假戰が今太平洋の彼岸沿岸とハワイ諸島を中心として米國の大西、太平兩洋艦隊の躊躇群に依て大規模にそして最も科學的に行はれて居る、世界平和と繁榮の永遠的な樹立の爲に嚴肅な宣言と好ましき協調のもとに二大會議が世界的な期待と支持のもとに行はれて居る折柄國際政局の不安と非常時局に名を籍つて行はれて居る此等海の示威運動は正に最近再現して來た世界的な武裝平和時代を表徴するに適しいしるものだ、寫眞は

一、「レキシントン」號を先頭に宜々太平洋を遊戈する合衆國の濠薩群

二、輕業の様な落下金賞習







聯合 寫眞 第二號 八年六月廿三日

◎第五回全東京乳幼児審査會

日本兒童愛護聯盟主催内務省、文部省協贊の  
第五回全東京乳幼児審査會は廿三日より二十  
七日迄五日間毎日午前九時より午后四時迄三  
越新館に於いて開催、滿二歳以下の健康乳幼  
兒（母親付添ひ）午前午后を通じ約四百五十  
名参加、畏くも李王妃の御臺臨があつた  
寫眞は

一、幼兒審査會







◎長城戰の華と散つた

一 鬪懷隊の遺骨歸る

一死盡忠の志を象徴する鬪懷隊の腕章を血に染めて長城戰の華と散つた山形部隊の池上秀雄中尉、水野大尉等勇士の遺骨五十九基は廿四日午前五時五分、引續いて小山騎兵少佐等の遺骨百十二基は同五時四十分何れも東京驛着死の凱旋をした、早朝にも拘らず驛頭には内山、麥刈、柴、町田各大將、愛國、國防兩婦人會員、在郷軍人會員等約二百五十名が出迎へ輸送指揮官高野大尉に指揮され白布で蔽はれた骨壺が戰友の手に捧げられて順々に下車しホームに整列したのは悲壯の極であつた、かくて無言の勇士等は出迎人一同の最敬禮裡に省電で兩國からの二基を除き上野驛發午前七時廿五分、同九時五分鐘列車で宇都宮へ六基他は全部山形、弘前に向けて歸還の途につた

寫眞は

一死の凱旋一於東京驛一







聯合 寫眞 第三號 八年六月廿四日

◎十萬年前の珍獸の骨

滿蒙調査團の德永博士かへる

滿蒙の秘境を科學の鏡に映し出す爲に早大教授、帝大講師德永重康博士を團長とし各學部の權威を網羅する滿蒙學術調査團はいよいよ七月廿四日東京を出發する事に決定したがその下調査のため渡滿中であつた德永博士は百餘點の太古獸類の骨、角等を土産に廿三日午後歸京、廿四日これを陸軍省に搬入、荒木陸相其他の參觀に供した

それはハルビン郊外十里の地點で發掘した約十萬年前に棲息した犀、鹿、野牛、水牛、カモシカ、マンモス等の頭骨の一部、角等學界に貴重な資料である

寫眞は

一、德永博士歸來の古骨